

第2テーマ「こんな施設・サービスがあったらいいな」

昨年から引き続き同じテーマで話し合いました。今年も移送に関する意見が多かったです。

○参加者 14名

○移動について

- ・施設で働いているが、職員が少ない分買い物や急や受診の対応が難しい。フォローしてくれるサービスがあったらいいなと思う。
- ・どの事業所もそうだと思うが、送迎が大変。事業所ごとだけではなく、諏訪圏域として送迎をやってくれたら助かる。そういったものがあれば効率もいいし事業所の負担もなくなる。
→各法人から1、2名スタッフを出して送迎対応できたら。
→なぜ事業所が送迎できないか。その視点から考えることも必要ではないか。
- ・一般就労でも通勤に関する困った声は多い。通う手段がなくて仕事をあきらめてしまうこともある。
- ・移動は、仕事でも遊びでも関わってくる部分。自立したいと思ってもどうしても家族に頼らざるえない。
- ・障がい者の方だけの問題ではない。隣近所とか地域で考えないといけない。年配の方で元気な方いっぱいいる。ボランティアで送迎なども考えていけたら。

○ボランティアの活動について

- ・病院では、病院付きのボランティアがある。その施設の為にボランティアグループがあると、一体的な関わりが出来て付き合いやすくなるかな。病院は元々開いているが施設は意識的に開いていかないと。視点を変えると地域に開いていく。ひまわり作業所では、ブルースカイというグループが入っていてイベント時には参加してくれている。
- ・地域とどう付き合いしていくか。自然と地域の中で生きていけたらいい。その為の仕組み作り、どう結び付きながら開いていくか。
- ・霧ヶ峰療護園では、28年間毎年、中洲地区の方がボランティアで草刈りに来てくれている。以前地区としては何かやろうとなった時に来てくれることになり、継続している。
- ・四賀小では回覧板でボランティア募集している。草刈りなど100くらいあったり、ちょこっとボランティアをやってみませんかという「ちょこボラ」もある。障がいの分野ももっとアピールしていいのでは。
→ボランティアコーディネーターが社協にいるので関わりを持っていけたら。

○その他

- ・岡谷、下諏訪でショートステイがほしい。現状できる所は遠い。
→ショートが増えるのは難しいと思うので、タイムケアや日中の支援での可能性を考えていけたら。
- ・地域生活支援拠点の役割にも関わってくるが、緊急時の利用だけではなく、話したい時に相談員が詰めていけばフラッと寄れる。そんな所が街中にあれば。
- ・事業所が終わって帰りたいがらない人もいるので、終わってから過ごせる場所がほしい。
- ・障がい福祉に関わる人材を見つける機会。
→どこかの町では町でヘルパー登録して必要な所に派遣してというところがあった。
→看護師や保育士など、有資格者で休んでいる方の活用。